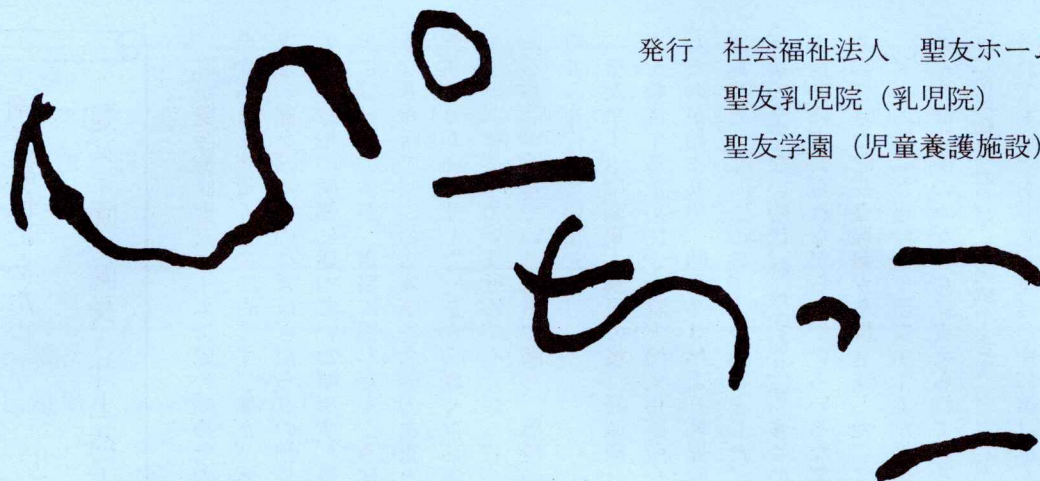


発行 社会福祉法人 聖友ホーム  
聖友乳児院 (乳児院)  
聖友学園 (児童養護施設)



目次	●コラム	園長就任にあたって 園長 井上恭子	.....	2
	●ふわふわ	乳児院の誕生日会&遠足紹介	.....	4
	●このゆびとまれ	生花ボランティアさんの紹介	.....	5
	●17年度聖友ホーム決算報告		.....	6
	●「ありがとうございました」		.....	7

〒166-0001 杉並区阿佐谷北 3-28-19

聖友乳児院 TEL 3338-1849 FAX 3338-4679

聖友学園 TEL 3338-1844 FAX 3338-1894

Eメール (共通) seiyugakuen@nifty.com



## 園長就任にあたって

聖友学園 園長 井上恭子

私が養護施設聖友ホームに勤め始めたのは、今から27年近く前のことです。まだ、木造平屋で一部2階建てのつぎはぎだらけの細長い建物が、敷地の南側に建っていた頃です。建物の裏にはびわの木が、道路に面したところには大きな八重桜と、この広報紙の名前の由来となった桃の木がありました。駅から続く商店街に、もうバスは走っていませんでしたが、古くからあるお店が並んでいて活気に満ち、風情のある町並みを作っていました。

聖友ホームは関東大震災の後、妊産婦と乳幼児を救済するために、産院と婦人相談所を開設したのが始まりで、昭和23年より乳児院と養護施設として、この地で歩み始めました。公的支援の全くない時代、戦後の混乱期、多くの方々の援助に支えられながらも、いろいろな苦労を重ねてきたと先輩職員から聞きました。

私が入職した当時も、聖友ホームが地域の皆さんや商店街のみなさんに支えられていることは、新米職員の私でも実感できました。しかし、それでも子どもたちが地域の中に溶け込んでいるとは感じられませんでした。地域の学校に通

い、ここで日常生活を営んでいても、なぜか施設の子とも達で固まりがちで、施設自体も閉鎖的でした。そんな状況をなんとかしたいという思いの中、施設の改築は子どもたちの生活を大きく変えました。保育・学習・趣味活動など、多くのボランティアさんのお力を戴くことで、子どもたちの生活を豊かにする試みをしました。それは施設の風通しを良くし、世間の常識を呼び込むものでした。また、地域のみなさんと手を取り合い、子どものことを一緒に考えたいとびーちっこを発行し、意見の交換をしたいと思います。返信をいただいた時には、歓声をあげたものです。施設の子ともたちのために、地域のみなさんのお力を強く求めた時代でした。

この27年近くの間、街のたたずまいも少しずつ変わってきましたが、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しました。防犯ベルを持つて登校し、見知らぬ人に近づかないなど自身で身を守ることを教えなければならぬ時代になってしまいました。見知らぬ人ばかりでなく、最も信頼し、安心して身を預けられるはずの家族からの虐待で、身も心も傷つけられる子どもたちについての報道が後を絶ちません。子どもばかりでなく、大人たちも孤立しがちで、子育てが難しい、とても生きにくい時代になってしまいました。子どもの問題は、社会のひずみが

一番弱いところに現れた結果と言えるでしょう。社会状況の変化に伴い、福祉の考え方も大きく変化しました。福祉は人が人らしく生きていくための誰もが利用できる社会制度であり、公的な施策ばかりでなく、地域の人々の創意工夫によって築いていく側面が大きく打ち出され、施設も地域の一員としてその一端を担う事が求められています。

聖友学園は、入所してくる子どもが心から安心して暮らし、自信を持って未来を切り開いていけるような施設を目指してきました。そんな長年にわたる取組みと職員一人ひとりの思いを結集し、平成16年に学園の理念を掲げました。施設の子ともだけでなく、地域の全ての子どもたちの育つ環境を、地域の皆さんと一緒に見守っていききたいという思いをこめた地域へのメッセージでもあります。

聖友学園職員一同は、地域の方々、福祉に関心をお持ちのみなさんと手を取り合せて、入所してくる子どもたちへの最善の援助と、よりよい地域作りを通して、理念の実現を図っていききたいと考えています。私も非力ではありますが、園長として職員の先頭に立ち最善を尽くすつもりです。これまで同様、聖友学園をよろしくお願いたします。



**聖友学園のミッション**

私たち聖友学園は児童育成のエキスパートとして、  
“自信と誇りをもって未来を見つめていける子ども”が育つ環境づくりを、  
地域社会とともに追求します。

**聖友学園のビジョン**

地域で育つ子どもたち

それを見守る大人たち

ちょっと不安な子どもたち

子育てに一息つきたい大人たち

そんな誰もが立ちよれる“阿佐谷子育て支援基地”

**聖友学園のバリュー (大切にしている考え方)**

～すべての人の人権を尊重します～

安心の場……ひとりひとりを大切に見つめ・共感し・受け止め、信頼関係の形成に努めることにより、子どもたちが大切にされているという実感を持ち、安心して生活できるぬくもりのある空間づくりを目指します。

自立支援 ……子どもたちが年齢に応じた発達をとげ、社会・地域・家族の一員としての社会的自立ができるよう努めます。  
家庭の抱える問題の解決に努力する保護者を応援し、ともに歩みます。

専門性と組織力……日々、子どもたちから学び、かつ専門性を追求し資質の向上をはかります。また、職場内のチームワークを高め、プラスαの支援力の発揮に努めます。

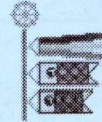
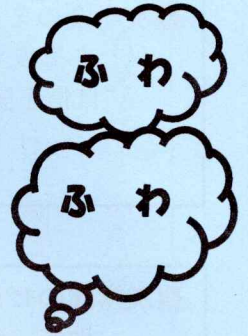
子育て支援……地域におけるネットワークを大切にし、気軽に足を運んでもらえるよう努め、子育てを楽しめるよう地域の方々とともに考えていきます。



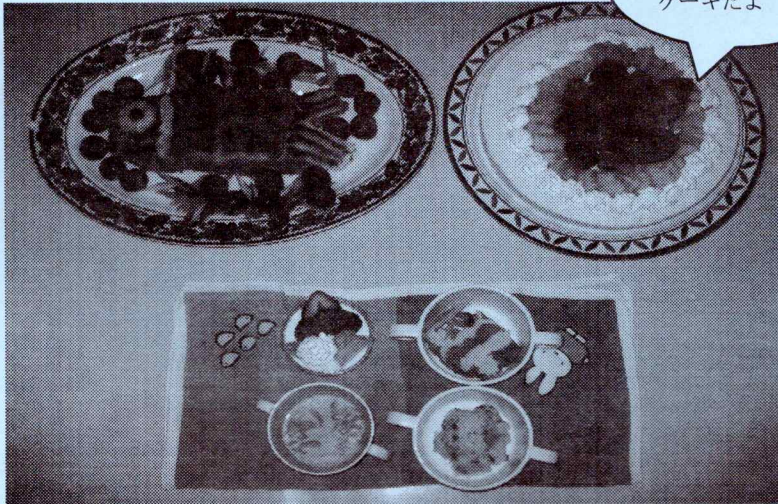
あっ！ボクのおやつ落とし  
ちやったあー……。どこに  
いっちゃったかなあー？



☆乳児院の子どもの日&遠足をご紹介します☆  
乳児院の子どもの日はみんなでおやつを食べて写  
真を撮りました。五月人形の前にて……。☆



みんなの好きな  
ケーキだよ



子ども日は楽しく行事食を食べました。乳児院の献立  
の一番はデザートでとってもおいしいです。

こいのぼりのハンバーグです☆



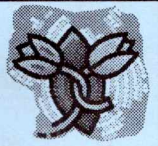




乳児院の遠足

歩ける子どもたちは、大人と手をつないで一対一で行きました。

馬橋公園に行きました。雨が降ってしまい  
お弁当は帰ってみんなで食べました。  
(>\_<) 残念！



このゆびとまれ

様々なボランティアさんが子ども達の為に学園に来てくださっていますが、今回はその中の「生花ボランティアさん」を紹介したいと思います。

平成16年からスタートして、毎月2回ほど土曜日に来てくださっている相墨一輝さん。小さい頃からお花を習っていたそうで、ロサンゼルスに1年間単身留学をして勉強したという経験もある実力派な方でもあり、香りや色彩、一刻一刻微妙に変化する花の魅力にずっとはまっておられるそうです。生花指導を通じて子ども達も相墨さんを慕っており、毎回素敵なお花のアレンジメントを教えて頂きながら、和気あいあいとした楽しい雰囲気の中で取り組んでいます。お正月にはとてもダイナミックなお花を生けてもらったり、イベントの時にも子ども達と一緒に「お花を生けてもらったり」と、四季折々に学園に綺麗な花の色を添えて頂いています。

自分を必要としてくれる子どもがいる。花を通じて心が通い合えるのが嬉しい！！





## 平成 17 年度 社会福祉法人聖友ホーム決算報告

平成 18 年 3 月 31 日

			法人本部	聖友乳児院	聖友学園	自立援助基金
経常活動による収支	収 入	措置費収入	0	220,134,002	155,790,520	0
		補助金収入	0	22,980,663	82,066,253	0
		寄附金収入	250,000	99,100	1,263,600	570,600
		雑収入	1,473,550	2,542,372	3,963,809	0
		借入金利息補助金収入	0	0	7,360	0
		受取利息配当金収入	5,182	24,717	23,060	5,842
		繰入金収入	147,800	100,000	803,500	0
		<b>経常収入計</b>	<b>1,876,532</b>	<b>245,880,854</b>	<b>243,918,102</b>	<b>576,442</b>
	支 出	人件費支出	570,464	210,470,032	179,809,783	0
		事務費支出	1,767,154	18,614,410	27,092,567	605
		事業費支出	0	19,415,548	44,927,325	250,960
		借入金利息支出	0	0	7,360	0
		繰入金支出	903,500	0	147,800	0
		<b>経常支出計</b>	<b>3,241,118</b>	<b>248,499,990</b>	<b>251,984,835</b>	<b>251,565</b>
<b>経常活動資金収支差額</b>			<b>-1,364,586</b>	<b>-2,619,136</b>	<b>-8,066,733</b>	<b>324,877</b>
施設整備等による収支	収 入	施設整備等寄附金収入	0	0	637,900	0
		<b>施設整備等収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>637,900</b>	<b>0</b>
	支 出	固定資産取得支出	0	252,000	1,134,250	0
		<b>施設整備等支出計</b>	<b>0</b>	<b>252,000</b>	<b>1,134,250</b>	<b>0</b>
	<b>施設整備等資金収支差額</b>			<b>0</b>	<b>-252,000</b>	<b>-496,350</b>
財務活動による収支	収 入	積立預金取崩収入	0	0	7,001,500	0
		その他の収入	0	0	0	74,133
		<b>財務収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>7,001,500</b>	<b>74,133</b>
	支 出	借入金元金償還金支出	0	1,100,000	1,750,000	0
		その他の支出	0	0	0	630,000
		<b>財務支出計</b>	<b>0</b>	<b>1,100,000</b>	<b>1,750,000</b>	<b>630,000</b>
	<b>財務活動資金収支差額</b>			<b>0</b>	<b>-1,100,000</b>	<b>5,251,500</b>
<b>当期資金収支差額合計</b>			<b>-1,364,586</b>	<b>-3,971,136</b>	<b>-3,311,583</b>	<b>-230,990</b>
<b>前期末支払資金残高</b>			<b>6,414,625</b>	<b>48,006,141</b>	<b>29,735,059</b>	<b>7,031,270</b>
<b>当期末支払資金残高</b>			<b>5,050,039</b>	<b>44,035,005</b>	<b>26,423,476</b>	<b>6,800,280</b>

## 松坂自立援助基金賛助会

収 入	会費収入	559,200	寄付	10,000	支 出	郵便料金	37,270	振込手数料	13,730	印刷費	300
	預り金	60,000	繰越金	100,185		残高証明発行	500	寄付金(基金へ)		550,000	
	合計					729,385	合計				601,800
<b>次年度繰越金</b>						<b>127,585</b>					





ぴーちっこ広場

お集まりください



「ぴーちっこ」は皆様とたくさんのお話  
ができる広場になろうとスタートしまし  
た。

皆様には、「おたより」のかたちで広場  
に集まっていたいただき、子どもたちに関す  
る様々な事柄を一緒に考えていきたいと  
思っています。

皆様からのたくさんのお便りをお待ち  
しております。下の用紙を切り取って、  
ご意見、ご感想などお寄せください。フ  
ァックス、Eメールでもけっこうです。

※ Eメールの場合は、件名に「ぴーちっ  
こ係」と入れて下さい。」

「ありがとうございました」

次の皆様よりご協力を頂きました。  
厚く御礼申し上げます。

(平成十八年一月〜平成十八年五月。  
敬称略)

△寄付金▽

陣内潤、野村はる子、小松崎文子、  
五十嵐青果店、道原商店(次頁に続く)

の り づ け

お  
る

の  
り  
づ  
け

の  
り  
づ  
け

※今後継続して「ぴーちっこ」の送付を希望されますか? ・はい ・いいえ

ご住所 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_



△寄付物品▽

川村都子、(株)ジャパンエナジー、原春男、奥野愛子、西野高秀、親切会関東支部、(株)ニトリ、久保田英、中沢小夜子、全国ビスケット協会、マテルインターナショナル(株)、石井みき、長谷部きみ子

△バースデーフレンド▽

朝倉良江、速水敬友、内山真規子、鈴木修、伊東令子、比嘉芳子、梅澤文治、中禮子、藤川民子、酒井香子、中山和子、松田由希子、西塚聖子、杉本洋子、大澤芳子、尾島陽子

△招待▽

テレビ朝日福祉文化事業団(体験BOX)、阿佐ヶ谷地域集会 施設運営協議会(マジックショー)、東京ヨットクラブ(東京湾クルージング)、日本アムウェイ(株)ONE BY ONE こだも基金(「KONISHIKIと歌おう」イベント、ツリークライミング)、(株)協栄ボクシング(ボクシング)、日本グラウンドロッジメソニック子供まつり実行委員会(メソニック子供まつり)、Jリーグ選手協会(サッカースクール)

1 6 6 8 7 9 0

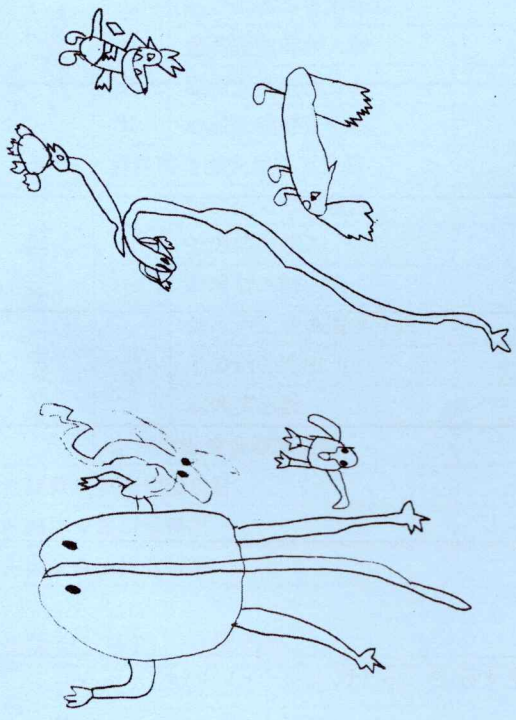
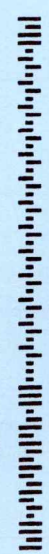
料金受取人払

杉並局  
承 認  
1094

差出有効期間  
平成19年5月  
14日まで  
(切手不要)

東京都杉並区阿佐谷北3-28-19

聖友ホーム「ぴーちっこ」係 行



絵 R男君